

医薬品開発支援ソフト

Eーザイから受注

アンイー
チ・テ
ド・エエイチ・アンド・テ
イー（大阪府東大阪市、濱田孝治社長、0
6・6785・3322）は、医薬品開発支
援ソフトをEーザイから受注した。受注金額
は明らかにしていな
い。柔軟な設計で稼働
期間が長く、必要な機
能だけを自由に選択できるため、低コストで
初期導入できる。同ソフトを国内外で広く販
売、2018年度に5億円の販売を目指す。
受注したのは非臨床試験の研究をサポート
する医薬品開発支援ソ
フト「TOXランチャ
ーシリーズ」の一般毒
性システム。標準価格

は1億円。

試験動物の一般病状
観察データや体重、餌、水、器官の重量測
定データ、検査機器からのデータ取り込みな
どを一括管理する。対
象動物の死亡など研究
現場で発生する突発的
なデータも柔軟に把握
する。モジュール化したソフトを組み合わせ
ることで機能を拡充で
き、システム運用中の
機能追加も容易にし
た。ハードウェアの更新
も簡単で、システムの
稼働期間を大幅に延長
できる。Eーザイは01
年に同シリーズの病理
サブシステムを導入し
ている。スタンドアロンタ
イプや小規模施設向け
なども取りそろえ、販
売先を広げる。